

三重県ダイバーシティ推進方針(仮称)(素案)について

1. 三重県ダイバーシティ推進方針(仮称)(素案) について

(1) 推進方針の性格

県が県民の皆さんとともに、ダイバーシティ社会の実現をめざし取り組んでいこうという意思表示です。めざすダイバーシティ社会に向けて県が取り組む上で、また県民の皆さんに行動を期待する上での考え方(ダイバーシティはプラスであるという考え方)などを示します。

(2) 推進方針の構成

ダイバーシティ社会の実現に向けた県民の皆さんへのメッセージなどをまとめた**基本方針**と、より詳細な**県の推進の方向性**の二部構成とします。(素案は資料 2 のとおり。概要は資料 3 を参照)

<県の推進の方向性>

1. 三重のチャレンジ
2. ダイバーシティの考え方
3. 発想の転換や見直し
4. 今後の展開
5. ダイバーシティの風を三重から起こす

(3) 推進方針のポイント

【めざすダイバーシティ社会】

性別や年齢がどうか、障がいがあるかどうか、国籍・文化的背景がどうか、性的指向・性自認がどうかということなどではなく、「一人ひとり違った個性や能力をもつ個人として尊重され、誰もが希望をもって日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが社会の中で活躍できる社会」をダイバーシティ社会と考えます。他者を尊重し、人の多様性が受容されることで、激しい環境変化にも適応でき、将来に向けて持続的な成長が可能となります。

このような社会においては、個人は一人ひとりが個性や能力を発揮し、活躍しています。

【プラスであるという考え方】

- ① 一人ひとりの違いを互いに受け入れることで、安心して能力が発揮できます。
- ② 違うことに価値を見出すことで、価値観や世界観が広がります。
- ③ 違った能力が掛け合わされることで、イノベーション（変革）が起こります。

①～③のことから、一人ひとりの違い、多様性を尊重し、多様性に共感し、多様性（ダイバーシティ）をより取り入れる（インクルージョン）ことで、個人の学びや気づき、生きがい、組織・社会における新たな価値創出や成長などにつながり、個人、組織、社会にとってプラスとなります。これが、ダイバーシティ&インクルージョンの考え方です。

【3つの推進の柱】

県の今後の展開として、次の3つの推進の柱を掲げ、取り組んでいきます。

- ◆ ダイバーシティの考え方の浸透 ～考え（意識）を変える～
- ◆ 交ざり合い・支え合いによる進化 ～行動を変える～
- ◆ 活躍に向けた変革 ～仕組みを変える～

2. 今後のスケジュール

素案について、ホームページ等で広く意見募集（10月上旬～11月上旬予定）をいたします。

それらも踏まえ、次回（11月下旬予定）の推進本部会議において、推進方針（仮称）案について、協議をします。